

2) 禁煙支援

(1) 世界禁煙デーのイベント

ピアサポーターが中心となって世界禁煙デーと禁煙週間の18日間の活動を列記しました。今年度は学生と安全衛生管理室職員と各学部の衛生管理者を含めたのべ55人の参加協力がありました。

主な活動内容

- 5 / 19 ぴあ定例会の時に禁煙デー禁煙週間活動について話し合い
- 5 / 24～27 掲示用ポスター作製
- 5 / 28 中央・農学部・工学部の各食堂にポスター貼付
- 6 / 1・6 / 3 大学周辺のごみ拾い



(2) 禁煙支援数と禁煙率

禁煙支援者の1年後の喫煙の有無を確認して、それを1年禁煙率とした。

年 度	学 生		職 員		合計	1 年禁煙率
	男	女	男	女		
2010年度	23	5	5	0	33	7 / 15 46.7%

回答を得られた者を分母として禁煙率を算出した。 2012 / 3 現在

平成22年世界禁煙デー 吸殻、ゴミ拾い活動まとめ

1. 活動の概要

◆禁煙週間 5月31日(月)～6月6日(日)◆

(1) 日時

1日目：5月31日(月) 10時～11時

2日目：6月1日(火) 11時～12時

3日目：6月3日(木) 10時～11時

(2) 場所

大学構内および大学外周

(3) 参加者

P S、保健管理センターの方、衛生管理者の方

2. 活動の反省

①良かったと思う点

③今度はこうしたらいいと思う点

②あまり良くなかったと思う点

④感想

(1) P Sから

- ①学内外のゴミ拾いをする事により、環境美化や地域貢献に役立てた
吸殻拾いをする事で、みんながよく吸う場所が把握できた
活動出来る人数は少なかったが、職員さんと協力して円滑に活動できた
- ②禁煙デーや喫煙マナー向上の宣伝、P Rが不十分
「斬新なこと」が実現できなかった
- ③禁煙デーや喫煙マナー向上の宣伝、P R

吸殻・ゴミが多かった場所

- ・サークル棟周辺
- ・寮周辺
- ・岩クス周辺
- ・テニスコート周辺
- ・ファミマ付近の交差点

(2) 保健管理センターから（佐藤加代子さん）

- ①ピアの皆さんのアイデアは視覚的に訴える点では今年も効果的だった。ポスターという毎年同じように見えるものでも、貼る場所で印象も違うし目を引いていたと思う。
環境整備については、衛生管理者の職員の参加があって今までにない動きであった。
- ③欲を言えば月1回でも続けられればいいのになと個人的には思っている。
- ④一緒にサークル棟周囲を清掃している時に、ピアさんが学生議会への働きかけをしなければと自発的に行動しようとしたことはうれしいことであった。職員に言われる前に、学生には学生から話をしなければならぬという責任感が感じられた。自分たちのサークル棟であるという自覚を持つとゴミもなくなることを期待したい。

(3) 衛生管理者の方から

- ・もっと目立つ格好？をしても良かったのでは？（禁煙促進をもっとP Rしても良かったのでは？）
- ・思った以上にゴミが落ちているのが一番の感想
- ・敷地内外ともに、吸殻を含めかなりのゴミが落ちていた。エコ大学ランキング1位の大学とは思えない
- ・今回のような活動に多くの方が参加することにより、ゴミをポイ捨てしない心がけが広まれば良い

文責：皆上